

1

プレスリリース

PRESS RELEASE

2014/4/10

# Nostalgia

ノスタルジック  
&  
ファンタジー  
現代美術の想像力とその源泉

AND

# Fantasy

IMAGINATION AND  
ITS ORIGINS IN  
CONTEMPORARY ART

2014年5月27日(火)―9月15日(月・祝)



橋爪彩《Chloris》2011年 個人蔵 撮影：加藤健  
courtesy of imura art gallery



横尾忠則《記憶の鎮魂歌》1994年 作家蔵



棚田康司《現れた少女》(部分) 2011年  
作家蔵 撮影：宮島徑  
courtesy of Mizuma Art Gallery

## 開催情報

展覧会名 ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉

会 期 2014年5月27日(火) - 9月15日(月・祝)

会 場 国立国際美術館 地下3階展示室(大阪市北区中之島4-2-55)

開館時間 10:00~17:00、金曜日は19:00まで開館(入場は閉館の30分前まで)

休 館 日 月曜日。ただし、7月21日(月・祝)、8月11日(月)、9月15日(月・祝)は開館、7月22日(火)は休館

観 覧 料 一般900(600)円、大学生500(250)円

※( )内は20名以上の団体料金

※高校生以下、18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方とその付添者1名は無料(証明できるものをご提示をお願いいたします)

※本料金で「コレクション1」もご覧いただけます

主 催 国立国際美術館

協 賛 公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団

特別協力 パナソニック株式会社エコソリューションズ社、ジャトー株式会社、株式会社レイテック、京都造形芸術大学ウルトラファクトリー、智頭石油株式会社

出品作家 横尾忠則、北辻良央、柄澤齊、棚田康司、淀川テクニク、須藤由希子、山本桂輔、小西紀行、小橋陽介、橋爪彩

[Yokoo Tadanori, Kitatsuji Yoshihisa, Karasawa Hitoshi, Tanada Koji, Yodogawa Technique, Suto Yukiko, Yamamoto Keisuke, Konishi Toshiyuki, Kobashi Yosuke, Hashizume Sai]

一般のお客様からのお問い合わせ先：国立国際美術館 06-6447-4680(代表)

## 趣旨

このたび、「ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」展を開催します。

ノスタルジーとは郷愁のことです。故郷を懐かしんだり、古き良き時代を思い返したりする心情を表します。しかし、心の中の風景は、しばしば異なった記憶へと置き換えられ、夢と現実とが交錯する空想の世界へと飛躍していきます。

この想像力が生み出す世界をファンタジーと呼ぶことができるでしょう。芸術作品の多くをファンタジーの世界と捉えることも可能です。逆に見れば、ファンタジーの源泉のひとつにノスタルジックなイメージがあるとも言えるわけです。

本展では、現代アートの重要な創作源として、この二つのキーワードに注目し、さまざまなかたちでこのテーマに取り組む、日本の現代美術家 10 組の創作活動を紹介します。彼らの活動は、過去の記憶に固執する人間の本性に向き合いながら、それを独自のイメージの世界へと昇華させる行為と見ることもできるでしょう。

一方で、彼らの作品が見る者を惹きつけるのは、私たち現代を生きる人間の多くが、こうした心情を共有しているからであり、すなわち時代の風潮としての一面でもあると考えられるのではないのでしょうか。未知の表現を目指す現代アートと、過去を指向するノスタルジーという心情は、まるで正反対に思われますが、現代という時代性が、この二つを結びつけているように思われます。

本展で紹介する作家たちの個性的な表現活動もまた、一見、脈絡のない個人的領域に属するのに見えますが、ノスタルジーとファンタジーという視点を設定するとき、それらに共通する一つの世界像が見えてくることでしょう。

# 4

プレスリリース

## PRESS RELEASE



### 広報用画像

別紙「広報用画像申込書」にて申請いただけます。

「広報用画像申込書」は、当館ホームページ内「プレスの方へ」からダウンロードしていただけます。



橋爪彩《Chloris》2011年 個人蔵 撮影：加藤健  
courtesy of imura art gallery



横尾忠則《記憶の鎮魂歌》1994年 作家蔵



柄澤齊《決壊》2011年 国立国際美術館蔵



淀川テクニック《宇野のチヌ》2010年  
courtesy of the artists and Yukari Art



須藤由希子《鉢植えと家・月島》2008年 ギャラリーイヴ蔵  
courtesy of Take Ninagawa

# 5

プレスリリース

## PRESS RELEASE

国立国際美術館  
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA



山本桂輔《貝》2012年 作家蔵  
courtesy of Tomio Koyama Gallery



小橋陽介《Self-portrait 148》2008年  
高橋コレクション蔵



棚田康司《現れた少女》(部分) 2011年  
作家蔵 撮影：宮島徑  
courtesy of Mizuma Art Gallery



小西紀行《無題》2007年 齊藤洋久氏蔵  
撮影：木奥恵三  
courtesy of ARATANIURANO



北辻良央《命の馬》2003年 作家蔵 撮影：森岡厚次

## 関連イベント

### アーティスト連続トークショー

#### 『現代美術とノスタルジー 最先端の試みをめぐって』

出品作家に、自らがイメージする「ノスタルジー&ファンタジー」を語ってもらいます。  
美術だけの問題にとどまらない、現代社会の実相に迫る糸口が見いだせるかもしれません。

第1回 2014年6月7日(土) 14:00～

「郷愁を拾い集める」(ゲスト: 淀川テクニク)

第2回 2014年7月5日(土) 14:00～

「僕らが見る世界の風景」(ゲスト: 小西紀行×小橋陽介×山本桂輔)

第3回 2014年8月2日(土) 14:00～

「技法が生み出す小宇宙」(ゲスト: 須藤由希子×橋爪彩)

第4回 2014年9月6日(土) 14:00～

「彫り出されたイメージの形」(ゲスト: 棚田康司)

司会進行: 安來 正博 (国立国際美術館 主任研究員)

場所: 国立国際美術館 地下1階講堂

参加無料 (定員130名 当日10:00から整理券を配布します)

### ギャラリートーク

第1回 2014年6月21日(土) 14:00～

第2回 2014年8月16日(土) 14:00～

講師: 安來 正博 (国立国際美術館 主任研究員)

場所: 国立国際美術館 地下3階展示室

参加無料 (要観覧券)

当日13:30から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します (先着90名)

# 7

プレスリリース

## PRESS RELEASE



### 同時開催

2014年5月24日（土）－ 9月15日（月・祝）  
「コレクション1」

### 次回展

2014年9月27日（土）－ 12月7日（日）  
「ジャン・フォートリエ展」  
「コレクション2」

---

### お問い合わせ先

国立国際美術館（〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-55）  
学芸課 広報担当：冬木 明里  
TEL：06-6447-4671（直通） FAX：06-6447-4698（学芸課）  
E-MAIL：kouhou@nmao.go.jp

展覧会担当：安來 正博